



県内で急増中！ 身近に迫る特殊詐欺。

特集

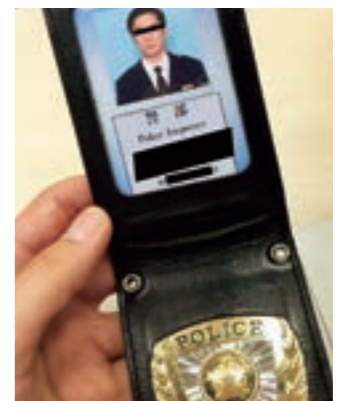
近年、ニュースや新聞で話題にあがる特殊詐欺。電話メールなどで言葉巧みに迫り、不特定多数から現金を騙し取る詐欺は、年々手口が複雑化・巧妙化しています。岩手県内でもここ数年で被害が急増。岩手県警察本部生活安全部に、その実情と対策について伺いました。

特殊詐欺とは？

犯人が電話やメール等で親族や公共機関の職員等を名乗って被害者を信用させ、直接対面なく現金を騙し取ったり送金させる特殊詐欺。さまざまな方法で、不特定多数の人から金銭を騙し取る詐欺の総称です。代表的な手口では、オレオレ詐欺や架空金請求詐欺などがありますが、近年はその内容が複雑化し10種類に分類されています。

さらに、最近特に急増しているのがSNS型投資・ロマンス詐欺。投資詐欺は、インターネット上やSNS広告などに著名人の名前や写真を悪用した嘘の投資広告を出したり、「必ず儲かる方法を教えます」などのメッセージを送ってSNSに誘導。

あえて少額の利益還元をすることで相手を信用させ、最終的にネットバンクなどの手口で金銭を振り込ませる手口です。同様にロマンス詐欺は、SNSやマッチングアプリなどで知り合った相手に好意があるフリをしたやりとりで親近感を抱かせ、



近年、警察官を名乗る詐欺が急増し、偽の警察手帳を提示するケースも増えています。

「結婚に向けた資金を貯めよう」「将来のために投資しよう」と持ちかけて金銭を騙し取る詐欺です。直接対面せずに行われる詐欺犯罪は増加が著しく、県内でも被害が増大。岩手県警察本部でも周知やその対策普及に努めています。

県内の特殊詐欺被害は約3億

県内の犯罪件数や傾向について、岩手県警察本部生活安全企画課の特殊詐欺対策係長・紺野確（あきら）さんにお話を伺いました。

「特殊詐欺の代表であるオレオレ詐欺の9割は、電話を手段にしており、高齢者がターゲットになりがちですが、SNS型投資・ロマンス詐欺は、現役で働く40代から50代の方



岩手県警察本部・紺野確さん。地域の防犯教室や企業研修の一環で、特殊詐欺対策の講習会なども行っているそうです。

ばしば。インターネットバンキングや電子マネーが普及したことで、送金行為を銀行窓口でガードしにくくなっていく現状もあります」と紺野さん。岩手県内のSNS型投資・ロマンス詐欺も、令和6年9月末で約3億円、認知件数40件の被害に及び、特殊詐欺同様の注意喚起を呼びかけています。

「認知件数は警察に被害届があったものですが、被害に遭われた方の中には届出を出さない方もいます。特にロマンス詐欺は被害のシヨックが大きく被害届を出さない人も多いので、実質の被害件数は計り知れません」。

金銭が戻ってくる可能性は低いいため、そのまま届出しないケースも多いとのこと。しかし、被害の実情をより明確に把握し社会全体の被害を減らすため、届出に協力して欲しいと紺野さんは話します。

地域や企業ぐるみで詐欺への抵抗力をつける

では、被害を未然に防ぐためどんな対策をすべきなのでしょう。

「まずは、詐欺における利用率の高い国際電話の休止措置を取ること。特殊詐欺は、+1や+44などから始まる国際電話でかかってくる比率が高く、休止手続きによってかなりのガードになります。また、在宅時

- SNS型投資詐欺 注意ポイント
 - ・投資先が実在しているか・国の登録事業者か
 - ・「必ずもうかる」「あなただけ」と言った文言に注意
 - ・投資を勧めている「著名人」がなりすましでないか
 - ・投資に関係する「暗号資産」や「投資アプリ」等が実在するか
 - ・振込先の口座に不審な点がないか
 - SNS型ロマンス詐欺 注意ポイント
 - ・実際にあった事がないのにお金の話をされる
 - ・「投資」に誘導されたら要注意
- (警察庁ホームページより引用)



こそ留守番電話設定を活用すること。とつさに電話を受けると、焦りもあって正常な判断ができなくなります。留守番電話のメッセージならじっくり冷静に聞けますし、犯人は自分の声を残したくないので諦める可能性が高いのです」。

紺野さんによれば、被害増に伴い国際電話休止措置の手続きも混み合っているとのこと。警察署や最寄りの交番にも手続き書類が用意されているので、遠慮なく相談してほしいと話します。

また、インターネット上の投資広告やSNSでつながった人からの儲け話は詐欺の可能性が高いという認識を持つのが大事。疑問に思う社名や投資品名、サイトやアプリ名はネット検索してみるのも効果的です。思いのほか、県内各地身近なところで多発する特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺。事業所内で「最近投資をはじめた」等の話題が出た場合、注意喚起の声をすること。ぜひ、会社ぐるみで詐欺に対する抵抗力を身につけましょう。

も多く被害にあっています。警察庁のデータによれば、令和6年8月末時点で全国の特種詐欺はおよそ350億円におよび、認知件数で1万2362件。概ね、全国各地1日1億円近い被害が発生していることになりました。今年较去年より3割ほど被害額が増加。被害内容はオレオレ詐欺が最も多く、県内でも同じ傾向が見られます」。

岩手県の特種詐欺被害額は令和6年9月末で2億9610万円。認知件数は35件計上、昨年に比べて件数が大幅に増加し、高額被害は1億円を超えるケースも増えています。

「県内の被害数は令和5年に一時減少しましたが、今年は爆発的に跳ね上がっています。高齢者だけでなく、20〜30代も騙されるケースが増えています。最近、厚労省、税務署、総務省等の実際の部署を名乗ることもし